

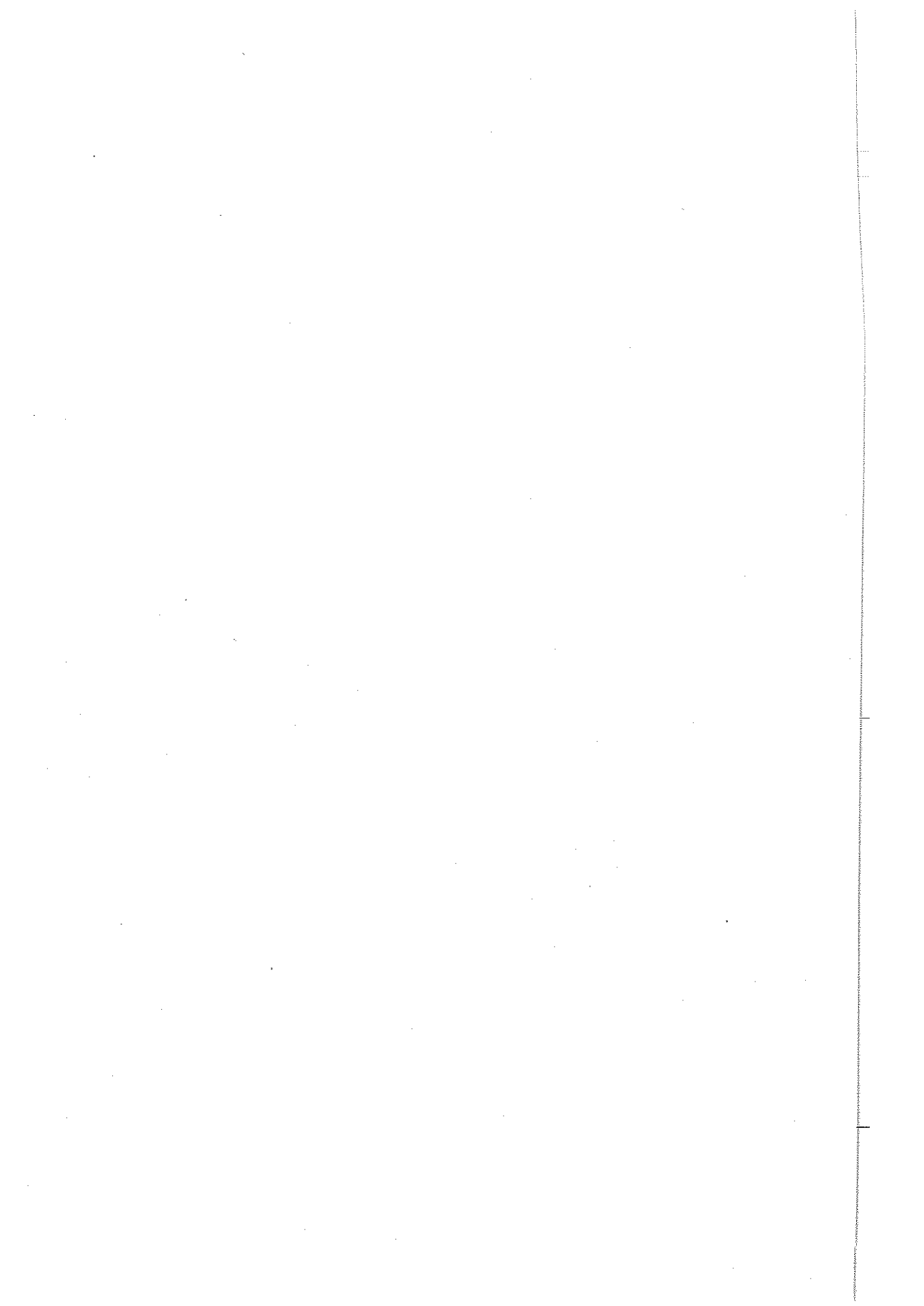


## 地理歴史・公民(世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済)問題

はじめに、これを読みなさい。

1. これは、世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。
2. 問題は全部で88ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし、「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお、マークしていない場合、または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
	





## 世界史 B

(解答番号 1～42, 101～108)

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

ラテン人の一派によって建設された都市国家のローマは、紀元前6世紀末にエトルリア人の王を追放して共和政となった。その後、中小農民の重装歩兵を軍事力の中核として、紀元前3世紀前半には全イタリア半島を支配した。更に、フェニキア人の植民市であるカルタゴとのポエニ戦争に勝利し、紀元前2世紀半ばには地中海全体をほぼ制覇した。しかし、征服戦争の拡大に伴って市民の間の経済格差が広がり、農民の没落による軍事力の低下に危機感をいだいたグラックス兄弟は、大土地所有者の土地を無産市民に分配しようとしたが、大地主の反対で失敗した。それ以降有力な政治家は、互いに暴力で争うようになり、ローマは内乱の1世紀に突入した。

この内乱を武力で鎮めた実力者の一人がカエサルで、紀元前46年に独裁官に就任して社会の安定化に努めた。その後カエサルが暗殺されると政治は再び混乱したが、最終的にカエサルの養子のオクタウィアヌスが内乱を平定した。オクタウィアヌスは、紀元前27年にほぼ全ての要職を兼任する事実上の独裁皇帝となり、ローマは元首政に移行した。その後約200年間は「ローマの平和」と呼ばれる空前の繁栄が続き、五賢帝の時代にローマは最盛期を迎えた。ローマの市民権は、徐々に属州民にも開放され、(1) 帝の治世下の212年に、帝国の全自由人に市民権が与えられた。

3世紀になると、属州が独自に皇帝をたてて元老院と争い、短期間に多数の皇帝が入れ替わる軍人皇帝の時代となった。また、異民族の国境侵入も活発化し、帝国は分裂の危機に陥った。これに対して、284年に即位したディオクレティアヌス帝は、皇帝主導の強権的な統治体制である専制君主政をしき、軍事機構や徴税機構の改革などを断行して、分裂の危機を回避した。その政策をひきついだコ

ンスタンティヌス帝は、軍隊の増強や税収確保のための改革を進めた。それでもなお、属州の反乱やゲルマン人の大移動によって帝国の分裂は不可避となり、テオドシウス帝が死去した 395 年に、帝国は西ローマ帝国と東ローマ帝国に分割された。

問 1 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(1)の記号にマークしなさい。

- A 実質的な支配権を握っていたのは貴族で構成される元老院だった。
- B 紀元前 5 世紀前半に、平民出身の護民官と平民会が設けられた。
- C 紀元前 5 世紀半ばには、慣習法を初めて成文化した十二表法が制定された。
- D 紀元前 367 年のホルテンシウス法により、コンスルの 1 人は平民から選ばれた。

問 2 下線部(イ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(2)の記号にマークしなさい。

- A 第 1 回の戦争ではローマが勝利し、最初の属州としてサルデーニャ島を獲得した。
- B 第 2 回の戦争では、カルタゴの将軍ハンニバルがイタリアに侵入した。
- C 第 2 回の戦争では、スキピオがザマの戦いでカルタゴ軍を破って勝利した。
- D 第 3 回の戦争でローマがカルタゴを滅ぼし、西地中海の覇権を握った。

問 3 下線部(ウ)に関連し、紀元前 73 年に起こった大反乱を指導した人物名を解答番号(101)に記入しなさい。

問 4 下線部(エ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(3)の記号にマークしなさい。

- A アントニウス、レピドゥスと共に第1回三頭政治を開始した。
- B ガリアに遠征し『ゲルマニア』を著した。
- C エジプトの太陰暦をベースとするユリウス暦を採用した。
- D 紀元前44年にブルトゥスらによって暗殺された。

問 5 下線部(オ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(4)の記号にマークしなさい。

- A ポンペイウス、クラッススと共に第2回三頭政治を開始した。
- B エジプト女王クレオパトラと結んだポンペイウスをアクティウムの海戦で破った。
- C 紀元前27年に元老院からアウグストゥスの称号を与えられた。
- D 元老院などの共和政の制度を尊重しプリンキパトゥスと自称した。

問 6 下線部(カ)に関連し、ストア派の哲学者としても有名で「哲人皇帝」と呼ばれた人物名を解答番号(102)に記入しなさい。

問 7 空欄(1)にあてはまる人物名を下から一つ選び、解答番号(5)の記号にマークしなさい。

- A ネロ                      B リウィウス              C カラカラ              D ユリアヌス

問 8 下線部(キ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(6)の記号にマークしなさい。

- A 4人の正帝が帝国を分割統治する四帝分治制を導入した。
- B 皇帝を神として礼拝することを要求した。
- C それまで迫害されていたキリスト教徒を保護した。
- D 小作人の移動を禁止して農地にしばりつけるコロナトゥスを導入した。

問 9 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(7)の記号にマークしなさい。

- A 410年にゲルマン人の一派の西ゴート人がローマを略奪した。
- B 451年のカタラウヌムの戦いでゲルマン人はフン人と連合して西ローマ軍を破った。
- C 476年にゲルマン人の傭兵隊長オドアケルが西ローマ帝国を滅ぼした。
- D 568年の北イタリアでのランゴバルド王国の建国で大移動は一応終息した。

問10 下線部(ケ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(8)の記号にマークしなさい。

- A アンティオキアを首都とし、ビザンツ帝国と呼ばれた。
- B 皇帝はギリシア正教会を支配し、政治と宗教の両面における最高権力者となった。
- C ユスティニアヌス大帝の時代に、一時的に地中海のほぼ全域を領土とした。
- D ユスティニアヌス大帝は『ローマ法大全』の編纂事業に力を注いだ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

中国では、220年に後漢が滅亡した後、分裂と戦争の魏晋南北朝時代が3世紀半余り続いた。その後、北朝の北周から出た楊堅は、<sup>(ア)</sup>長安を都として隋を建国し、589年に南朝の陳を倒して中国を統一した。隋は、均田制・租庸調制・府兵制を導入して財政や軍事の基礎を固めようとした。また、官吏の任用に際しては、<sup>(イ)</sup>儒学の試験によって広く人材を求める制度を作り、中央集権化を推し進めた。楊堅の子の  は、江南と華北を結ぶ大運河を完成させ、周辺諸国への積極的な遠征を行った。しかし、こうした大規模な土木事業や周辺諸国へのたび重なる遠征によって農民は困窮し、高句麗への遠征失敗を機に各地で起こった反乱により隋は滅亡した。

隋末期の反乱の中で挙兵した李淵は、618年に隋を倒して唐を建て、都を長安<sup>(ウ)</sup>に定めた。唐は隋の制度を受け継ぎ、律・令・格・式の法制に基づく整然とした律令国家体制を確立した。唐の統治体制の根本は、均田制と租庸調制であった。<sup>(エ)</sup>唐の律令国家体制は、近隣の東アジア諸国にも大きな影響を与え、朝鮮や日本<sup>(オ)</sup>は、朝貢制度を通じて律令体制、都城の制、仏教文化などを導入し、国家の整備に役立てた。朝鮮半島では、 や高句麗を滅ぼして676年に朝鮮半島の大部分を統一した  が、唐の官僚制を導入すると共に、仏教を保護した。また、高句麗の滅亡後に中国の東北地方に建国された  は、唐の官僚制や都城プランを取り入れた。

8世紀に入ると唐の支配体制は大きく変化した。712年に即位した玄宗は、<sup>(カ)</sup>政治の引き締めに努めたものの、人口の増加や商業の発達に伴って農民の間に貧富の格差が拡大し、没落して逃亡する農民が増加したことから、均田制や租庸調制が崩れていった。これによって府兵制も崩れたため、傭兵を用いる募兵制が採用され、その指揮官である節度使が辺境の警備に当たるようになった。玄宗の晩年の755年には、節度使の安祿山と史思明が反乱を起こした。唐は  の援軍を得て反乱を鎮圧したものの、それ以降は節度使が藩鎮として各地に割拠した。更に9世紀後半になると、黄巢が起こした反乱が全国に広がり、唐は907年に節度使の  に滅ぼされた。



問 1 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(9)の記号にマークしなさい。

- A 後漢の滅亡後は、魏・呉・蜀が中国を3分する三国時代となった。
- B 司馬炎が晋を建てて280年に中国を統一したが、その後匈奴に滅ぼされた。
- C 5世紀前半に華北を統一した北魏では、太武帝が均田制や三長制を導入した。
- D 南北朝時代の江南では、東晋政権で戦果を挙げた劉裕が東晋に代わり宋をたてた。

問 2 下線部(イ)に関連し、中国の歴代王朝における官吏の任用制度を古い方から正しい順番で並べたものを下から一つ選び、解答番号(10)の記号にマークしなさい。

- A 九品中正 → 郷挙里選 → 科挙
- B 郷挙里選 → 科挙 → 九品中正
- C 科挙 → 九品中正 → 郷挙里選
- D 郷挙里選 → 九品中正 → 科挙

問 3 空欄(1)にあてはまる人物名を解答番号(103)に記入しなさい。

問 4 下線部(ウ)に関連し、唐代の長安に関する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(11)の記号にマークしなさい。

- A 周辺諸国からの朝貢使節、留学生、商人などが集まった。
- B アタナシウス派キリスト教が伝えられ、景教と呼ばれた。
- C ササン朝の滅亡時に多くのイラン人が移住し、イラン系の風俗が流行した。
- D 国際色豊かな都市で、外国人が官僚にとりたてられることもあった。

問 5 下線部(エ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(12)の記号にマークしなさい。

- A 全ての成年男女に土地が均等に支給された。
- B 地主の勢力を抑えて農民を保護育成することを狙っていた。
- C 唐の全土にわたって例外なく実施された。
- D 貴族による大土地所有は認められなかった。

問 6 下線部(オ)に関連し、この時代の日本に関する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(13)の記号にマークしなさい。

- A 遣唐使を送って中国文化の輸入に努めた。
- B 唐と冊封関係を結んでいた。
- C 長安を模倣した平城京が建設された。
- D 唐の影響を受けた国際色豊かな天平文化が栄えた。

問 7 空欄(2)・(3)・(4)に入れる語句の組合せとして最も適したものを下から一つ選び、解答番号(14)の記号にマークしなさい。

- |   | (2) | (3) | (4) |
|---|-----|-----|-----|
| A | 百済  | 新羅  | 渤海  |
| B | 渤海  | 新羅  | 百済  |
| C | 新羅  | 百済  | 渤海  |
| D | 新羅  | 渤海  | 百済  |

問 8 下線部(カ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(15)の記号にマークしなさい。

- A 太宗の皇后の則天武后らが引き起こした政治的混乱の回復に努めた。
- B 賢臣を登用して「開元の治」と呼ばれる唐の安定期を実現した。
- C 晩年に楊貴妃を寵愛してその一族を登用したため政治が乱れた。
- D 安史の乱によって一時的に都の長安を奪われた。

問 9 空欄(5)にあてはまるものを下から一つ選び、解答番号(16)の記号にマークしなさい。

A 突厥      B ウイグル      C 吐蕃      D エフタル

問10 空欄(6)にあてはまる人物名を解答番号(104)に記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

イスラーム教はアラビア半島の西部において、7世紀にムハンマドによって創始された。イスラーム勢力はムハンマド時代にアラビア半島のほぼ全土に広まった。そして正統カリフ時代、ウマイヤ朝、アッバース朝にかけて、イスラーム世界は中央アジアからイベリア半島の広大な範囲に拡大した。

しかしアッバース朝の時期にイスラーム帝国は分裂に向かい、多くの独立王朝が出現した。東方から来たトルコ人はイスラーム化し、11世紀にはセルジューク朝を築いた。モンゴル人が建国したイル＝ハン国においてもイスラーム教が定着していった。西方では8世紀には後ウマイヤ朝、さらにファーティマ朝などの盛衰がみられた。

これらの諸王朝を経て、13世紀以降には強大なイスラーム王朝が出現した。オスマン朝、ティムール朝、サファヴィー朝などである。

イスラーム世界はさらにアフリカ、インド、東南アジアにも拡大していった。13世紀にはアフリカではマリ王国がイスラーム教を受け入れた。インドでは13世紀にイスラーム王朝のデリー＝スルタン朝が出現し、またその後はムガル帝国が栄えた。東南アジアでは14世紀に成立したマラッカ王国の国王がイスラーム教に改宗し、イスラーム化が進んだ。

このようなイスラーム世界は都市を基盤として発展した。諸王朝の都も大いに賑わった。イスラーム教のなかには様々な分派や考えが生まれ、豊かな文化も育まれた。

しかし、このようにして拡大したイスラーム世界は、イベリア半島やバルカン半島においてヨーロッパ世界と対峙するに至った。またヨーロッパ諸国の世界的な進出によって、イスラーム世界のなかにはその植民地となる地域も生じた。このような情勢のなかで19世紀にはイスラーム世界に新しい政治的な動きが芽生えた。

問 1 下線部(ア)に関連する説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(17)の記号にマークしなさい。

- A イスラーム教を説いたムハンマドの生家は農耕牧畜を生業としていた。
- B ムハンマドが 622 年にメディナからメッカへ逃れたことをヒジュラという。
- C 622 年を紀元とするイスラーム暦は太陽暦である。
- D イスラーム教の信徒をムスリムといい、その共同体をウンマという。

問 2 下線部(イ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(18)の記号にマークしなさい。

- A バヤジット 1 世はアンカラの戦いでティムール朝に勝利した。
- B メフメト 2 世はビザンツ帝国を滅ぼした。
- C セリム 1 世はマムルーク朝を滅ぼした。
- D スレイマン 1 世はウィーン包囲(第 1 次)を行った。

問 3 下線部(ウ)に関連し、成立年代の古い方から正しい順番で並べたものを下から一つ選び、解答番号(19)の記号にマークしなさい。

- A マリ王国 → ガーナ王国 → ソンガイ王国
- B ソンガイ王国 → マリ王国 → ガーナ王国
- C マリ王国 → ソンガイ王国 → ガーナ王国
- D ガーナ王国 → マリ王国 → ソンガイ王国

問 4 下線部(エ)に関連する説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(20)の記号にマークしなさい。

- A アクバルはティムール朝の再興を目指したが、インドに進んでムガル帝国を建てた。
- B Ауラングゼーブはアグラを都に定め、ジズヤを廃止し、北インドを統一した。
- C シャー=ジャハーンは亡妻の廟としてタージ=マハルを建てた。
- D バールはヒन्दゥー教を弾圧し、シク教徒やマラーター族の反抗をまねき、帝国は衰退し始めた。

問 5 下線部(カ)に関連し、イスラーム都市の説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(21)の記号にマークしなさい。

- A バザールはスークともいい、商店や飲食店が並ぶ市場である。
- B モスクはイスラーム教の礼拝堂で、町の中央に建設された。
- C ミナレットは高等教育機関で、イスラーム学者が養成された。
- D キャラヴァンサライは隊商宿で、商品の倉庫や取引場ともなった。

問 6 下線部(ク)に関連し、王朝とその都の組み合わせのうち最も適したものを下から一つ選び、解答番号(22)の記号にマークしなさい。

- A アッバース朝・ダマスクス
- B 後ウマイヤ朝・グラナダ
- C ファーティマ朝・カイロ
- D ティムール朝・イスファハーン

問 7 下線部(キ)に関連する説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(23)の記号にマークしなさい。

- A スンナ派はアリーとその子孫のみを正統とみなすイスラーム教の少数派である。
- B 十二イマーム派はスンナ派の主流となった。
- C サファヴィー朝はシーア派を国教とした。
- D スーフィズムはイスラーム神秘主義ともいわれ、主にウラマーの間に受け入れられた。

問 8 下線部(ク)に関連し、著者と著書の組み合わせのうち最も適したものを下から一つ選び、解答番号(24)の記号にマークしなさい。

- A ウマル＝ハイヤーム・『ルバイヤート』
- B イブン＝ハルドゥーン・『シャー＝ナーメ』
- C イブン＝ルシュド・『医学典範』
- D イブン＝バットゥータ・『千夜一夜物語』

問 9 下線部(ケ)に関連し、イベリア半島において、キリスト教徒がイスラーム教徒を駆逐し、半島を取り戻そうとした運動を何というか。最も適した語句を解答番号(105)に記入しなさい。

問10 下線部(コ)に関連する説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(25)の記号にマークしなさい。

- A インド国民会議はイスラーム教徒の政治団体で、インド独立運動を担った。
- B サレカット＝イスラームはジャワで結成され、オランダに対して自治を要求した。
- C アフガーニーはパン＝イスラーム主義を提唱し、ワフド党を結成した。
- D ムスタファ＝ケマルは青年トルコ革命によってオスマン帝国を打倒し、政教分離を実現した。

〔IV〕 次の文章(1～2)を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

1 アメリカ合衆国が世界とどのように関わってきたのかということを見るために、アメリカ合衆国をめぐる外交や戦争に着目してみよう。

アメリカ合衆国が独立する前の17・18世紀において、北アメリカ植民地における戦争は経済覇権をめぐるヨーロッパ諸国の角逐<sup>(ア)</sup>にもなっていた。

17世紀にはイギリス＝オランダ戦争があり、18世紀にはイギリスとフランスの抗争が激化した。フランスとの戦争に勝利したイギリスは、ユトレヒト条約とパリ条約(1763年)によってミシシッピ川以東の広大な地域を植民地とした。

しかし北アメリカの東岸にあった13のイギリスの植民地は、18世紀にイギリス本国とアメリカ独立戦争を戦うことになった。フランスもまたイギリスに宣戦し、<sup>(イ)</sup>連合軍は有利に戦いを進め、イギリスはついにパリ条約(1783年)でアメリカ合衆国の独立を承認した。19世紀に入るとイギリスとの間には再度、通商妨害からアメリカ＝イギリス戦争がおきた。そして1823年にはモンロー宣言<sup>(ウ)</sup>が発せられ、孤立主義外交が明確にされた。

この時期はまたアメリカ合衆国の領土が拡大<sup>(エ)</sup>した時期でもあった。アメリカ＝メキシコ戦争によってカリフォルニアを割譲されたアメリカ合衆国は、ほぼ現在の姿をとるにいたった。しかし西部への発展が進んだこの時期は、農業を主とする南部と商工業を主とする北部という地域的な違いが明らかになった時期でもあった。両者の対立<sup>(オ)</sup>は激化して、南北戦争にいたり、北部の勝利で終わった。



問 1 下線部(ア)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(26)の記号にマークしなさい。

- A イギリス=オランダ戦争によって、ニューネザーランドはイギリス領となった。
- B ユトレヒト条約はオーストリア継承戦争の講和条約である。
- C パリ条約(1763年)は七年戦争の講和条約である。
- D フレンチ=インディアン戦争によって、カナダはイギリス領となった。

問 2 下線部(イ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(27)の記号にマークしなさい。

- A アメリカ植民地はイギリス本国の砂糖法、印紙法、茶法に反対した。
- B アメリカ合衆国の独立を最初に承認したのは、ルイ 16 世のフランスである。
- C スペインとオランダはフランスと同盟して対英宣戦した。
- D プロイセンの提唱で結成された武装中立同盟はアメリカの独立を間接的に助けた。

問 3 下線部(ウ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(28)の記号にマークしなさい。

- A モンロー宣言はヨーロッパ諸国がラテンアメリカ諸国の独立に干渉することに反対した。
- B モンロー宣言はロシアの太平洋岸への南下政策に反対した。
- C モンロー宣言を受けて、ハイチ、ブラジル、メキシコなどラテンアメリカ諸国が独立した。
- D モンロー宣言ではアジアは対象とならず、アメリカ合衆国は積極的に東アジアに進出していった。

問 4 下線部(ア)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(29)の記号にマークしなさい。

- A アメリカ合衆国はフランスからミシシッピ川以西のルイジアナを買収した。
- B アメリカ合衆国はスペインからフロリダを買収した。
- C アメリカ合衆国はメキシコからテキサスを買収した。
- D マニフェスト＝ディスティニーとはアメリカ合衆国の西部開拓を正当化した言葉である。

問 5 下線部(イ)に関連し、当時の南部の説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(30)の記号にマークしなさい。

- A 南部は自由貿易を主張し、民主党の有力な地盤となった。
- B 南部は自由貿易を主張し、共和党の有力な地盤となった。
- C 南部は保護関税政策を主張し、民主党の有力な地盤となった。
- D 南部は保護関税政策を主張し、共和党の有力な地盤となった。

2 1890年にアメリカ合衆国政府はフロンティアの消滅を発表し、それに合わせるように従来の孤立主義から方針を変え、積極的に海外進出を図るようになった。アメリカ合衆国はアメリカ＝スペイン戦争に勝利し、カリブ海や太平洋のスペイン領植民地を獲得した。20世紀に入りアメリカ合衆国のカリブ海政策はさらに強化された。また中国に関しては門戸開放原則を提唱した。

第一次世界大戦と第二次世界大戦にアメリカ合衆国は深く関わった。いずれも開戦当初は中立を保ったが、その参戦は戦況に大きな影響を与え、連合国を有利に導いた。また大戦後の国際秩序の形成にも大きな影響力をもった。

第二次世界大戦後は冷戦体制の成立によって、アメリカ合衆国は資本主義陣営の中心として社会主義陣営と対立することになった。それは朝鮮戦争とヴェトナム戦争への介入につながった。そして冷戦体制が崩壊したのは、湾岸戦争やイラク戦争など戦争の形態も大きく変わった。

問 6 下線部(カ)に関連し、その前後のアメリカ合衆国のアジア進出について、次の文 a～c を古い方から正しい順番で並べたものを下から一つ選び、解答番号(31)の記号にマークしなさい。

- a アメリカ合衆国の國務長官ジョン＝ヘイは、中国に関し門戸開放と機会均等を提唱した。
- b アメリカ合衆国は日本と日米和親条約を結んだ。
- c アメリカ合衆国はスペインからフィリピンを獲得した。

- A b → c → a
- B a → b → c
- C c → a → b
- D c → b → a

問 7 下線部(キ)に関連し、セオドア＝ローズヴェルトが進めたカリブ海政策を何というか。最も適した語句を解答番号(106)に記入しなさい。

問 8 下線部(ク)に関連し、第一次世界大戦後の国際秩序の説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(32)の記号にマークしなさい。

- A 国際連盟はアメリカ合衆国大統領ウィルソンの十四カ条提案に基づき、サン＝ジェルマン条約で設立された。
- B ワシントン会議では、ワシントン海軍軍備制限条約、九カ国条約、四カ国条約が締結された。
- C ロカルノ条約はアメリカ合衆国など7カ国が調印し、ライン非武装と相互不侵略を内容とした。
- D 不戦条約はケロッグ・ブリアン条約ともいわれ、アメリカ合衆国大統領ケロッグが提唱した。

問 9 下線部(ケ)に関連し、第二次世界大戦のときに行われた会談の説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(33)の記号にマークしなさい。

- A 大西洋上会談はローズヴェルトとチャーチルによってなされ、アメリカ合衆国はドイツ・イタリアに宣戦した。
- B カイロ会談ではローズヴェルト・チャーチル・蔣介石によって対日戦の基本方針が討議された。
- C テヘラン会談はローズヴェルト・チャーチル・スターリンによる連合国3首脳の最初の会談である。
- D ヤルタ会談とポツダム会談ではアメリカ合衆国・イギリス・ソ連の連合国3首脳によって、戦後処理が協議された。

問10 下線部(コ)に関連し、この前後の朝鮮半島の説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(34)の記号にマークしなさい。

- A 第二次世界大戦終結後、朝鮮においては北緯 38 度線を境界に、北をソ連軍、南をアメリカ軍が占領した。
- B 朝鮮半島の北には金日成を首相とする朝鮮民主主義人民共和国が、南には朴正熙を大統領とする大韓民国が成立した。
- C 朝鮮戦争には国連軍や中華人民共和国の義勇軍も派遣された。
- D 朝鮮戦争の休戦協定によって、北緯 38 度線付近で軍事境界線が引かれた。

世界史 B 問題は次ページに続いています。

〔V〕 次の文章(1～3)を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

1 19世紀は、「ヨーロッパの世紀」と呼ばれるほど、ヨーロッパの動向が世界全体に大きな影響を及ぼした。

いち早く産業革命を達成し、「世界の工場」として世界をリードしたイギリスは、とくにヴィクトリア女王の時代に黄金期を迎えた。

フランスでは二月革命を経てルイ＝ナポレオンの第二帝政のもとで産業革命が進行し、鉄道建設や都市改造などが進められた。プロイセン＝フランス戦争での敗北で第二帝政は崩壊し、ドイツとの講和をめぐってパリ民衆が蜂起し、1871年世界史上最初の労働者・市民による自治政府とされる  が樹立される。それはまもなく鎮圧され、第三共和政の時代となっていく。

19世紀にはヨーロッパ列強によって植民地の分割が進められた。1870年代まではごく一部しか植民地化されていなかったアフリカについても 1884～85年のベルリン会議後またたくまに列強によって大部分が植民地化されてしまった。

問1 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(95)の記号にマークしなさい。

- A 第1回の万国博覧会が1851年ロンドンで開催され、イギリスの近代工業力の成果が誇示された。
- B 保守党と自由党の二大政党が総選挙の結果にもとづいて交替して政権を担当する議会政治が定着した。
- C イギリスはインドにおいて東インド会社を解散させて直接統治に乗り出し、1877年ヴィクトリア女王がインド帝国の皇帝に即位した。
- D グラッドストーン内閣は、1886年アイルランド自治法を成立させ、「大英帝国のアキレス腱」ともいわれたアイルランド問題を解決した。

問2 空欄  にあてはまる語句を解答番号(107)に記入しなさい。

問 3 下線部(イ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(36)の記号にマークしなさい。

- A 共和主義者のラマルティエヌが第三共和政の初代大統領となった。
- B 1875年に三権分立、二院制、任期7年の大統領制などを規定した共和国憲法が制定された。
- C 1880年に7月14日が国民祝祭日とされるなど、フランス革命を原点とする国民統合がすすめられた。
- D 積極的対外進出がはかられ、1880年代にはチュニジアやインドシナなどを植民地化し、イギリスにつぐ植民地帝国を形成した。

問 4 下線部(ウ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(37)の記号にマークしなさい。

- A ベルギー国王がスタンリーを雇ってコンゴ国際協会を組織し、1883年にコンゴ領有を宣言したことが発端となった。
- B この会議は、ドイツのヴィルヘルム2世が呼びかけて開かれた。
- C アフリカは「無主の地」とみなされ、最初に占領した国が領有できるとする「先占権」が承認された。
- D ベルギー国王の所有地としてコンゴ自由国の設立が認められた。

2 1920年代のアメリカ合衆国は「黄金の20年代」とも呼ばれ、自動車や家庭電化製品等が普及し、空前の繁栄を誇った。しかし生産が過剰となり投機も加熱するなかで1929年10月ニューヨーク株式市場の株価が大暴落し、その影響は各国に波及して世界恐慌となった。

(エ) この世界恐慌による危機からの脱却をはかるために、アメリカ合衆国ではニューディールと呼ばれる一連の政策が実施され、海外に広大な植民地を持ったイギリス、フランスはブロック経済の方向を強めた。他方、ドイツ、イタリア、日本は軍需産業の振興や対外侵略などによって危機を切り抜けようとした。

問 5 下線部(エ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(38)の記号にマークしなさい。

- A 1929年10月24日の木曜日に最初の株価大暴落があったことから「暗黒の木曜日」とされている。
- B 恐慌にまきこまれた各国では、企業・銀行の倒産が続出し、大量の失業者が生まれ、社会不安が広まった。
- C 恐慌は世界的な農業不況と重なり、農民が大きな打撃を受けた。
- D 世界恐慌が波及して財政危機に陥ったドイツの救済のため、アメリカ合衆国大統領クーリッジは賠償・戦債支払いの一年間停止を宣言した。

問 6 下線部(オ)に関連する政策にはあてはまらないものを下から一つ選び、解答番号(39)の記号にマークしなさい。

- A 農業調整法
- B 全国産業復興法
- C タフト・ハートレー法
- D テネシー川流域開発公社

3 第二次世界大戦後、植民地独立の動きがアジアやアフリカなどに広がった。とくにアフリカでは、1960年にいっきょに17の新興独立国が生まれて「アフリカの年」と呼ばれた。1963年にはアジスアベバでアフリカ諸国首脳会議が開かれ、そこで (2) が結成された。

独立を果たしたアジア・アフリカ諸国の中からは東西両陣営のいずれにも属さない第三勢力の形成をめざす動きが生まれ、平和共存・反植民地主義などをうたった平和十原則を採択したバンドン会議や第1回<sup>(カ)</sup>の非同盟諸国首脳会議などが開かれた。

一方、戦後世界は東西両陣営の対立が長らく続いた。その中でアメリカ合衆国は多くの地域で紛争に関係してきたが、なかでも<sup>(キ)</sup>ヴェトナム戦争は数百万人の人命が失われた第二次世界大戦後最大の戦争となった。

また、東西対立の中で、米ソにはさまれた西ヨーロッパでは両世界大戦への



反省もこめたヨーロッパの統合をめざす動きが着実に進展してきた。それは、  
シューマン＝プランによる 1952 年のヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)の発  
足にはじまり、その後統合の度合いを徐々に高め、加盟国を拡大しながらヨー  
ロッパ統合の歩みは 21 世紀に入っても続いている。

問 7 空欄  にあてはまる語句を解答番号(108)に記入しなさい。

問 8 下線部(カ)に関連し、この会議の提唱者とされる指導者には該当しない人  
物名を下から一つ選び、解答番号(40)の記号にマークしなさい。

- A ナセル            B ネルー            C スハルト            D ティトー

問 9 下線部(キ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(41)の記  
号にマークしなさい。

- A 南ヴェトナム解放民族戦線の活発なゲリラ戦に苦しんだ米軍は、解放  
民族戦線側とみなされた村落を焼き払うなどの焦土戦術をとり、国際世  
論からも批判された。
- B 北ヴェトナムによる南ヴェトナム解放民族戦線への支援を絶つためと  
称し、1965 年アメリカ合衆国は北爆に踏み切った。
- C アメリカ合衆国のヴェトナムへの軍事介入に対する反対運動がアメリ  
カ合衆国内も含めて全世界に広がった。
- D 1973 年ハノイで和平協定が結ばれて米軍が撤退し、1976 年南北統一  
が実現した。

問10. 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(42)の記号にマークしなさい。

- A ローマ条約に基づき1958年ヨーロッパ経済共同体(EEC)がフランス、西ドイツ、ベネルクス3国、イタリアの参加によって発足した。
- B 1967年に発足したヨーロッパ共同体(EC)は、その後イギリス、スペインなどが加わり巨大な統一市場へと発展した。
- C 1992年に調印されたマーストリヒト条約に基づきヨーロッパ連合(EU)が発足し、2002年からはユーロが導入され、EUの全加盟国の共通の通貨となった。
- D 2004年にはポーランド・ハンガリーなどの東欧・東南欧諸国やキプロスなど10カ国が一挙にEUに加盟した。